

おみた *magazine*

OMITA MAGAZINE

小美玉市の文化・芸術総合情報誌 おみた Magazine 第185号

〒319-0132 茨城県小美玉市部室1069 TEL.. 0299-484466
【企画・取材】みのんば編集局(四季文化館みのくれ内)
【編集・発行】小美玉市文化芸術課 令和7年3月27日発行

小美玉文化情報
日々発信中!

アピオス
みのくれ
コスモス
f f
@ x
@

アートと交わる
わたしがひかる

撮影：内田 奈那
モデル：今泉 龍翔さん、谷田 海斗さん
幡谷 洸史郎さん、石川 巧馬さん



Omitama
きらりびと



■ 編集後記
みの〜れでのイベント運営を通じ、地域の方々との関わる機会が増えました。ワークショップでは、子どもたちの集中する姿に刺激を受け、ものづくりの面白さを実感できました。準備は大変ですが、新たな視点に触れる貴重な経験です。これからも多くの人とのづくりの魅力を共有できる場を大切にしたいです。(安達 将伍)

■ みのんば編集局
編集長 藤田 佐知子
記者 遠藤 雅樹、加藤 篤子、瀧澤 比佐乃、福島 ヤヨヒ
保田 孝雄
カメラマン 赤上 恵、齋藤 友幸、橋本 笑優
■ アートディレクター/デザイナー 清水 すず菜 (つばめ座)

特集

はじめてのアーティスト

First

芸術に対する思い、出会いは人それぞれです。本物のアート体験との出会いは、感性やコミュニケーションなどを育みます。文化ホールは、小さな子ども、親子も、おじいちゃん おばあちゃんも、誰でも気軽に安心して参加・参画できるコンサートやワークショップを行っています。小美玉で、自分の「好き」を見つけてみてください。



けん玉プレイヤー

俳優

Togo X Kenji Matsumori

人の数だけアートがある。多様な価値観も受け入れてくれるアート体験。

【『アート』って何だろう?】

トーゴ 今、けん玉を楽しむ人たちの中には、検定資格に全くこだわらずに自分独自の世界観を表現する方が増えていて、世界で活躍する中学生もいます。既成の概念にとられず、新しいことを創るマインドを持っているんですね。すべての「表現」がアートだといえると思います。

松森 100の言葉よりも直接的に人の心に響くのもアートですね。現代社会の中で、多様な価値観を受け入れることを学ぶ機会も提供してくれます。しかし一方で、アートは敷居が高いと思われがちです。私は、仲間と組んで気軽にどこでも楽しめる芝居、例えば個人宅のリビングでも楽しめるような作品をつくっているんですよ。

トーゴ はじめの一步を踏み出すための、アートを楽しみたいという前向きな気持ちは重要ですね。アートに触れて養われるものだけでなく、作品や成果が褒められたり、誰かの役に立って感謝されたりした経験が必要なんだと感じています。そうした日常の人とのコミュニケーションによって醸成されていくように思っています。

【アートとの出会い】

トーゴ 私は44歳のとき、偶然通りかかったワークショップでけん玉に出会いました。世界大会レベルの技が次々と展開され、けん玉がくるくる回る様子は、今まで知っていたイメージとは全く違って、とても衝撃的でした。「この技をやれるようになりたい!」と思い、SNSで情報を集めながら独学で研究しはじめました。練習で通った公園の芝の一角が剥げるくらい没頭しましたね。

松森 私はもともとバス少年でしたが、大学入学後、先輩に誘われて観に行った学生演劇が運命的な出会いとなりました。肌に伝わってきた「生きる力」の迫力に感動し、「僕がやりたいことはコレだ!」と思ったんです。
トーゴ 稲妻が落ちるような感覚を覚えたんですね。

松森 まさにそうです。私の中学・高校の6年間には、生きるということを考えさせられる機会が何度かありました。自分の思いをうまく言葉にできず、誰にどんな言葉を発したらいいかわからないという苦しい経験でした。演劇は、うまく伝えられない思いを演者がいろいろなかたちで表現していくもので



PROFILE

けん玉プレイヤー
トーゴ

茨城県在住。アピオスけん玉企画のアドバイザー兼ワークショップ講師を務める。GLOKENエキスパート1級。NHK紅白歌合戦のけん玉ギネス世界記録挑戦では、審査補助員として2018年から従事。過去3回、けん玉ワールドカップ50歳代世界1位に輝く。



PROFILE

俳優
松森 謙治

演劇を観る文化を創るため「いつでもどこでも素敵なお話を届ける」をモットーにWithMEのパフォーマーとして、場所にとられない公演を全国で行っている。■キッズミュージカル魚沼産☆夢ひかり(役者、脚本) ■聖セシリア女子中学校(特別講師、振付、舞台監督) ほか



す。そこに大きなエネルギーが生まれることに感激したんです。

【体験が生み出す、はじめての感覚】

松森 自分が初めてワークショップに参加したときはどんな気持ちでしたか? 私は受け入れてもらえるかどうか、実はドキドキしていました。実際に参加してみると、人はこんなに自分の話を聞いてくれるんだ! 思いは伝わるんだ! と大変嬉しかった記憶があります。

トーゴ 私は新しいことができる喜びをとにかく大きく感じましたね。人は何歳からでもいろいろなことをはじめられます。もし、あのとき、大人の私が子どもたちに交じて「教えてください」と言わなかったら、今の私はいません。振り返ってみるとむしろ「大人な

のにけん玉をやること」に価値があったと思っています。ギネスの審査員として声がかかったり、子どもからお年寄りまで楽しめるような新しいけん玉ワークショップを企画したり、すべてそのおかげだと思うのです。

【誰もが笑顔になる体験を創るために】

松森 勇気を出して参加してくれた皆さんが、何かしらひとつ先のステージに進むことができ、それを共に喜べるようなワークショップを私は目指しています。文字を読むことが困難だという子がワークショップに参加してくれたことがありました。彼は役割ができたことを楽しみ、自分のセリフだけでなく他者のセリフまでも覚えてきたので、周囲の誰もが驚きました。その成長に立ち会え

たことは私にとってもうれしくて「活動していたよかった!」と思いましたね。

トーゴ 私も子どもたちのスイッチが入る瞬間に何度も立ち会いました。順風満帆ではない子どもたちにとって、けん玉が希望の光になったと、とてもうれしく思いました。

松森 人はみんなダイヤモンドを内に持っている、それをさまざまな角度から磨き上げ、光をあてるチャンスをつくるのが私たちの仕事なのかもしれません。輝く経験が、それぞれの人生に大きな影響を与えようと思うのです。

トーゴ パッションを表現できる場づくりが重要なんですよね。

松森 そうですね。アートを楽しむためのはじめての一步、これからも応援したいですね。

art

はじめての アート

参加といってもかたちはさまざま、人それぞれ。
“はじめての”を踏み出すって、とても勇気が要りますよね。
劇場には、みなさんの“はじめて”を応援する企画が
たくさんあります。きっと、自分の好きが見つかるはず。

撮影：赤上 恵
取材：加藤 篤子、瀧澤 比佐乃、福島 ヤヨヒ、藤田 佐知子

メンバーである職場の先輩と音楽の話で盛り
上がったときに「一緒にやらない？」と誘われた
のがきっかけです。メンバーの皆さんが快く迎え
入れてくれたのが嬉しかったです。人とのつながり
も広がりました。これからも、ゆる〜く長く、プライ
ベートも大切にしながら関わってまいります。

光と風のステージCueプロジェクトメンバー
藤原 桜さん



「ひと月に1回なら!」と学生時代に愛
用していたサクスを抱えて初参加。
主催のteam;ここからのメンバーや
参加者の皆さんがとても気さくで、す
ぐに打ち解けられました。子育て中心
の日常から離れて、自分の時間を楽し
んでいます。人とのつながりが広がる
のも魅力のひとつですね。

おとのワークショップ 参加者
櫻井 有加さん



これまで子育て時期だったので、参
加したくても参加できませんでした。
やっと子どもがリコーダーワークショ
ップの対象年齢になり、親子で参加で
きて嬉しいです。実際に参加してみ
ると、とても気やかな雰囲気、敷居が
高いと思っていた芸術文化に対する
ハードルが下がった気がします。

笛の音楽隊 参加者
永作 涼子さん



参加する前はとても不安でしたが、
子どもたちが楽しそうに歌ったり踊っ
たりする姿を見て、参加してよかつ
たと思いました。講師と遊ぶように
進めてきたことが、最後はかたちに
なったので感動しました。子どもた
ちには、こういった体験から自分の
「好き」を見つけ出してほしいです。

こどもミュージカルたいけん 参加者
伊藤 剛史さん 千晴さん
芯さん 汰一さん 花さん



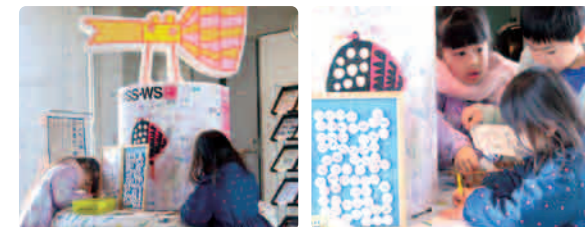
子どもたちには「い
ろいろなことに興味を持って
もらいたい、何にでも楽しむ
気持ちを持ってほしい」とい
う思いがあります。今回初め
て参加しましたが、子どもたち
の成功体験が増え、大人でも
夢中になる時間を過ごせまし
た。けん玉ワークショップは三
世代で楽しめる企画ですね。

けん玉ワークショップ 参加者
川島 節子さん 康雄さん
栖さん 冬慈さん



イベントがない普通の日でも みの〜れの常設アート体験

■ BIRDぬり絵 自分の好きな色で自由にチャレンジ。
完成したらオリジナルパッチプレゼント!



4月から5月までに開催される アートイベント一覧

- 4月5日(土)：小美玉さくらフェスティバル (みの〜れ)
- 4月〜毎週水・土：演劇CrewCosmo'sワークショップ (コスモス)
- 5月11日(日)：おとのワークショップpart.3 発表会 (アピオス)
- 5月17日(土)：和太鼓ワークショップ (みの〜れ)
- 5月18日(日)：こどもミュージカルたいけん (みの〜れ)

CULTURE REPORT

2025年1月19日 / アピオス
今宵は貴方とjazzな気分酔いしれて…

美しいメロディーをつむぐピアノ、全体を支える大黒柱のようなベース、音楽の流れを生み出すドラム。3つの楽器がそれぞれ個性を出し合いながらも、しっかりと一体感を保ち、素敵な音色で楽しませてくれました。曲ごとに異なる雰囲気味わえる心地よいひとときでした。アンコールではそれぞれの即興ソロで観客を魅了し、幕を閉じました。(前島 京子)



2025年2月16日 / みの〜れ
創作和太鼓集団みのり太鼓 打つ、その先に

20〜30代の若手メンバーが中心となって創り上げた、初めての公演。強いプレッシャーにより不安も大きかったと思いますが、本番のステージはそれを感じさせないクオリティで、観客から大きな拍手と声援が送られました。若手のメンバーは公演を通して自分を見つめ直す良い機会となり、さまざまな面で成長できたと思います。この経験を活かし、さらにみのり太鼓を盛り上げてほしいです。(中泉 唯人)



2025年2月22日・23日・24日 / みの〜れ
みの〜れ小劇場vol.2 青春事情Presents ソロソロ

都内で活躍する劇団「青春事情」が、みの〜れで小劇場公演。ソロキャンプを楽しみたい人たちが、ドタバタを通して人とのつながりを見つめ直す物語。茨城弁を取り入れた、みの〜れだけの特別な演出も。観客と出演者の距離が近く、観客も出演者の一人であるかのように感じられ、自然と笑いが溢れました。市内出身の廣木葵さんも出演し、3日間5公演は盛況のうちに幕を閉じました。(野手 利江)



2025年1月31日 / 玉里学園義務教育学校
コサージュ・クレヨン作りワークショップ

SDGsについて学習をした6年生が、親子行事でみの〜れのアートプロジェクトを体験しました。不要になったハギレで作るコサージュと、校内に呼びかけて集めたクレヨンで作るリメイククレヨンづくりに参加した児童は、「思い出のクレヨンが、素敵な贈り物になって嬉しかった」と話していました。生まれ変わったダイヤモンド型のクレヨンは、新一年生に贈られるそうです。(藤田 佐知子)



2025年2月22日 / みの〜れ
光と風のステージCue vol.77 武田愛ジャズコンサート

ジャズをメインに活動するシンガーソングライター武田愛と、パーカッショニスト渡辺庸介、ピアニスト畑野圭慧。それぞれが単独でライブをできるほどの実力派で、個性的な3人が奏でるオリジナルを含めた数々の楽曲は、ジャズの域にとどまらない広がり聴衆を魅了しました。さらに今回は動画撮影も可ということで、いつものライブ以上の盛り上がりを見せていました。(遠藤 雅樹)



2025年3月8日 / みの〜れ
中学生向けデザインセミナー

セミナーの講師は、市内循環バス「おみたん号」をデザインした清水すず菜さん。まずは、講師が実際に制作したチラシをもとに、ヒアリングから完成までを解説。続けてデザインワークショップを行い、ロゴデザインづくりに挑戦しました。普段は完成したチラシしか見られない中学生にとって、制作過程や思考のプロセスを知る貴重な時間となりました。(保田 孝雄)



TOPICS

無料 小美玉市の文化ホールには、4つの展示ギャラリーがあります。

個性豊かな4つのギャラリー。ご自分にぴったりの場所を見つけたら、ぜひQRコードからお問合せください!

01 陽だまり広場 アピオス

展示施設:小美玉市小川文化センター アピオス

「いつ来ても何かやっている」そんな劇場を目指して、1カ月に2企画を展開しています。プロ・アマ・個人・団体・市内外問わずどなたでも展示OK。あなたの表現の場として、アピオスのホワイエを活用してみませんか?



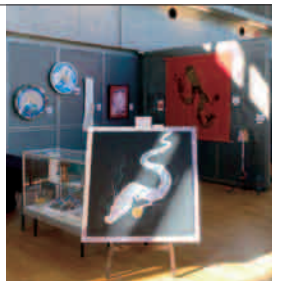
- 絵画
- 書
- 写真
- 陶芸
- 手芸作品
- レコード
- マルシェ
- パネルシアター



02 陽だまり横丁 みの〜れ

展示施設:小美玉市四季文化館 みの〜れ

みの〜れホワイエにある展示スペースです。壁掛け作品だけでなく立体作品の展示もOK。展示だけではなくイベントを盛り込むことで、静から動へ、人と人のつながりを生む場に。あなたの「やってみよう!」を応援します!



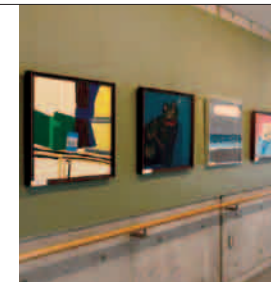
- 絵画
- 写真
- 陶芸
- クラフト
- 廃材リメイク作品
- デザインポスター
- ハンドメイド雑貨
- 国際交流PR



03 ときめき美の小径 みの〜れ

展示施設:小美玉市四季文化館 みの〜れ

みの〜れ館内には、さまざまな作品を展示できる仕組みが整っています。通路の天井に設置されたピクチャーレールを活用し、年間を通じて訪れる方の目を楽しませています。ぜひ、お気軽にお申込みください。



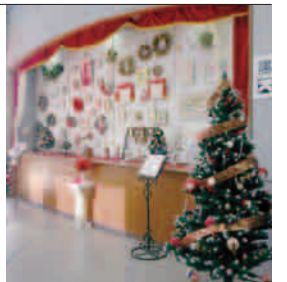
- 絵画
- 書
- 写真
- 切り絵
- 竹工芸
- イラスト
- ぬり絵
- ポスター



04 陽だまりスクエア コスモス

展示施設:小美玉市生涯学習センター コスモス

小美玉市にゆかりがある方たちで構成されたプロジェクトチームが運営。「自然と歴史が豊かなコスモスを舞台に、ニューヨークタイムズスクエアのようないろいろな人が集まり、行き交う場所であるように」という思いが込められています。



- 写真
- 装飾
- 水彩画
- 活動展
- エコクラフト
- 環境かるた
- 研究報告
- 自由研究ポスター



募集 イベント本番取材、執筆。学生のインターンシップを歓迎しています。

全国から注目される小美玉市の文化ホールの取り組みは、シティプロモーションの先進事例となっています。文化ホールのインターンに参加したら、市民がイキイキ語りながら活動する様子取材し、SNSで発信したり、文化情報紙おみたマガジンに寄稿したりすることができます。これからの自治体職員は情報編集力が大事。かたちと結果が見えるインターン、自己成長やキャリア形成のために活用してみたいいかがですか?

■ お問い合わせ / 0299-48-4466 (みの〜れ)

